



令和4年1月1日現在

人口	14,259人
男性	6,886人
女性	7,373人
世帯数	6,754戸

# 新しい年を迎えて



健康づくり推進委員会 会長  
前澤 悦子

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年より新型コロナウイルスの感染拡大は収束することなく、また新たにオミクロン株の出現により不安な思いの中で新年を迎えた方も少なくないものと思います。何とか感染が広がらないことを願うばかりです。

令和3年5月27日松本市健康づくり推進員として委嘱状を頂きました。まさか自分が会長に就任するとは思っていませんでしたので、不安と緊張のスタートでした。

地区担当保健師さんと役員さん中心に健康づくりの活動が出来るように推進員皆様と共に努めてまいりたいと思うところ、まだ新型コロナウイルスに振り回され思うような活動が出来ない中、何とか独自活動を展開して1年を終える事が出来ました。推進員皆様もほぼ初めての方で訳も分からないのでスタートでした。研修会、定例会を重ねることに、会員の親睦が深まり笑顔が見られ、発言も増えてきました。そして、各自健康意識が高まり市や地区からの情報を多く知ることができ勉強になると、良い刺激を受けたとの会員の言葉もありました。

理事会でのスローガンで「市民の健康は健康づくり推進員の手で」「会員の親睦を図り進んで学習し、地域に広めよう」を目標とし、達成できるように令和4年に繋げていきたいです。



## 御射神社秋宮「大祓い」

御射神社秋宮は旧本郷村時代に浅間の春宮と共に建設されたお宮で三才山の本村に在ります。暮れの大祓いの為に、しめ縄作り、松飾りをしますが、今回はその様子を紹介したいと思います。

12月12日に松取り、藁すぐりを行いました。松は岸松(約2m位で枝が3段か5段の奇数)を3対、その他各神殿用の物を探取します。三才山といえど、なかなか条件に合う見栄えの良い松を揃えるのは苦勞するところです。藁はまだ「稲架掛け米」を作る家がありますので10月に用意しておきます。

当日は晴れていましたが外での作業でしたので寒い中、木槌で藁を叩きながら「昔はローラーの機械があったし、来年は何か機械作ろうよ」と言いながらやっています。



19日は一ノ瀬公民館内の作業で、前年の縄を見本に作る為か気合が入って、毎年太くなっていくような気がします。



秋宮は拝殿の奥に4つの神殿がありますので、境内の他に4本のしめ縄も作ります。写真にある穴の開いた柄杓は子安宮に安産の願掛けをした人たちの物です。

昼食後完成した物(しめ縄、おちよこ、しゃもじ)をお宮に飾り、それぞれの願いを込めて、無事「大祓い」を終えました。

我が故郷生坂村の三九郎を紹介します。私が小学校低学年の頃は、(60年も昔)雪も多く、正月を迎えた頃に子どもたちだけで山に入り、三九郎の御神木(くぬぎ・なら等)を切り倒し皆で力を合わせながら雪の上を毎年組み上げる場所まで引き出しました。高学年のお兄さんたちの指導を受け、子どもたちだけで建てあげたものでした。その造り方は、形状は三角錐ですが、町場の三九郎とは大きく違い、中に松飾り等を入れるのではなく、二階建てで、一階にはワラで葺き上げ、それは秘密基地風で快適な遊び場でした。

いろいろでお餅を焼いて食べ、お年玉で買ったおもちゃを持ち寄り楽しく遊んだものでした。

親三九郎と子三九郎の大小二基を造り、隣の部落より早く造り、一番最後に点火する事が一番との風潮から惜しみながら点火したことを覚えています。



(水汲町会)

(三才山町会)



フリー  
コラム  
古今東西

年取り魚

新型コロナウイルスの猛威によって、我慢の年が続いています。日常の尊さを思い出しながら、今年こそは安心の日々でありますようにと、希望を胸に新年を迎えた方も多いのではないのでしょうか。

正月とともに年齢を重ねる数え年が大晦日の行事「お年取り」の語源といわれています。お年取りは地域によってその扱ひもさまざま。信州では大切な風習として受け継がれていますが、関西地方などではお年取りに相当する文化がない土地も。

「年取り魚」と呼ばれ大晦日に食す魚は、東日本がサケ、西日本はブリといわれ、その境界線が松本だという説があります。しかし県内でも北信はサケ、中信はブリ、佐久市ではコイを食べるといふ話もあり、一概にはいえないようです。

何を食べるかよりも、その時間をどう過ごすか。大晦日にしか味わえない新しい年を迎え入れるときめきも、ご馳走のひとつかもしれません。

(南浅間町会N)

コロナ禍の病院の年の瀬

執筆現在で、年末だということに、新たに「オミクロン株」が確認されたりと、まだまだ気が抜けないと改めて気づかされています。しかし、最近長野県内の新規感染者も少ない現状を見てどこか気が緩んでしまっている自分がいます。私は、医療従事者であり一般市民よりも気を引き締めていかなければならない立場であることは、重々承知です。

世間では、医療従事者のストレスに関して取り上げられることが多くありますが、入院している患者様を取り上げることは少ない印象があります。病院のいたるところに、「面会禁止」と書かれ、家族が荷物を持ってきてても顔を合わせることができない。年末年始も外泊禁止。そんな状況下でも患者様はスタッフに笑顔をくれます。入院中の精神的ケアには家族が一番の薬だと思えます。今一度家族とは何なのか、どれだけ大切なのか考えさせてくれます。

患者様の笑顔に恥じないように、これからも安心安全な看護、介護を行っていきたいと思います。いち早い終息を祈るばかりです。

(浅間温泉第7町会K)

横田公民館の断捨離から

公民館を共有する4町会全世帯アンケートで、52回続いた町会大運動会を廃止する事になりました。運動会用具は多く公民館倉庫だけでなく神社倉庫にもあります。断捨離する話しが広がり全く使われてない弁当箱や館内各部屋調理室、平成16年館竣工以来の大事業。更に各町会倉庫神社も対象になりました。

作業は関係する町会役員・民生委員・氏子総代等の人数です。判断に迷った場合は作業を中断し、意見を出し決定します。

会計担当によると予想より量が多く処理費が高額になったとの事です。その結果、館内各部屋や物入れが整理された事。町会がかつて使われたグラウンドゴルフ用具が寄贈された事。

不用品や忘れ物が直ぐ処理され気持ち良く新年を迎えられます。



(横田第7町会I)

宝くじの助成金で整備 [松本市三才山公民館]

三才山公民館は昭和29年に建設され、三才山保育園として活躍の後、三才山町会の公民館として67年が経過し、老朽化によって各所に不具合が見られたうえに、耐震性に著しく乏しいという問題がありました。このたび、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業・コミュニティ助成事業により改築いたしました。約350人いる三才山町会の住民自治・防災・福祉・社会教育など、様々な活動の拠点として、今後、地域活性化に大いに貢献する施設として、期待されます。

事業概要

- 事業助成 一般財団法人自治総合センター  
コミュニティ助成事業 (コミュニティセンター事業)
- 助成額 1,500万円
- 事業費 3,059万円
- 建物概要 木造平屋建て建築面積104.27㎡  
バリアフリー化を実現、(スロープ設置・段差解消・多目的トイレ設置等)耐震基準以上の強度を確保、2月上旬竣工予定



竣工間近の松本市三才山公民館 (南側より撮影、令和3年12月)

コロナ退散 打ち上げ花火

去る令和3年11月6日、本郷小学校校庭にて6年2組の子どもたちがクラウドファンディングを利用して資金を集め、約200発の花火を打ち上げました。

